

小松屋クリーニング 自動プレス装置で作業時間の短縮、均一な仕上がりを実現

都道府県 愛知県

従業員数 36人

事業 クリーニング業

事業概要

- ・昭和22年創業。
- ・創業以来の熟練技術と数十種類の薬剤を駆使し、通常では取れない、頑固なシミにも対応。
- ・当日仕上げも行っており、急な需要にも対応。



抱えていた課題



- 最も受注の多い「ワイシャツ」の仕上げ工程がボトルネックとなり、1日400枚（各店舗100枚）の作業が限界で、受注拡大が困難な状況であった。
- 半袖シャツの手作業でのアイロンがけ作業等に多くの工数を奪われていた。
- 材料費が上昇する中、激しい価格競争により価格転嫁が難しく、効率化が急務であった。

導入後の変化、効率化された業務

- 半袖シャツの機械仕上げが可能になる等、作業が自動化され、仕上げの人員を2名から1名へと削減した。
- 従来の「蒸気噴射」が廃止されたことで、作業中の過酷な噴射音・熱気・湿気が解消され、夏場の作業環境が改善された。
- 特注のビニールハウスを導入して仕上げエリアを囲うことで熱を逃がさず、効率的な熱回収（省エネ）を実現するとともに、水洗いエリアからの最短動線を確認した。

導入した「自動プレス装置」の特徴

- 台形ゴテの採用により、要望の多かった半袖の仕上がり＆セットのしやすさが大幅にアップ。
- 熱風温度を向上させ、素材に関わらず10秒プレスで仕上げ。

成果



- 不慣れなスタッフであっても効率的に作業できるようになり、ワイシャツ400枚の仕上げに8時間を要していた工程が、約5時間に短縮された。
- 襟の縮みやシワが改善され、以前は約10%発生していた手直し作業が大幅に減少した。
- 効率化で生み出した時間を「シミ抜き」等の専門技術教育に充て、従業員の専門性の高度化と技術承継が進んでいる。